

Chronis S RTS / 1 ID週間タイマー送信機

(クロニス S RTS) / Chronis Smart RTS 426



特長

- 各曜日毎に1回UP、DOWNの時刻設定が可能
- 2099年までのカレンダーを内蔵
- ワンタッチでタイマー機能のON/OFFが可能
- UP、STOP、DOWN の押ボタン操作が可能

● ご使用前に必ずお読みください ●

⚠️ ご使用上のご注意

- Chronis S RTS は一般屋内用の機器です。水気のある場所や屋外などでは使用しないでください。絶縁不良による誤作動や故障の原因になります。
- カバー内部のプログラムボタンは登録時以外押さないでください。しばらくの間正常な操作が行えなかったり、再設定が必要になることがあります。
※プログラムボタンは受信機への登録等に使用しますが、通常操作では使用しません。
- 頻繁に押ボタン操作を行わないでください。一時的に送信できなくなりますが、これは特定小電力無線設備※のため故障ではありません。

⚠️ 施工上のご注意

- 取り付け場所からシャッターなどが動作することを確認してから施工してください。

※特定小電力無線設備について

送信時間に制限があり、送信時間(連続又は断続のボタン操作)が5秒に達すると、自動的に2秒間の休止時間が設けられています。ボタン操作を行わない状態が2秒以上経過すると、休止は解除されます。

仕様、定格

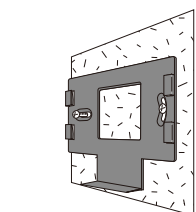
- 制御対象：1日にタイマー動作2回と操作を4回した場合
RTS 受信機、RTS 受信機内蔵モーター
- 電源：単4アルカリ電池(LR03)×2
- 電池寿命：約1年
ただし、1日2回タイマー動作かつ1日4回手動操作の場合
(同梱の電池は本機の初期の動作確認用ですので、通常の寿命より短い場合があります。)
- ID数：1
- 出力：特定小電力無線 426MHz 帯、1mW 以下
- 使用温度範囲：+5℃～+40℃
- 時計精度：±25秒/月以内
- 到達距離：コンクリート壁をはさんで約20m
- 保護構造 IP30 (屋内専用)

各部名称

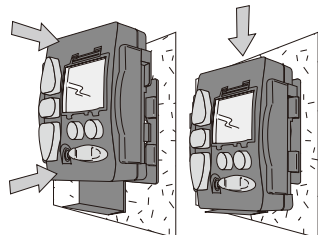


施工

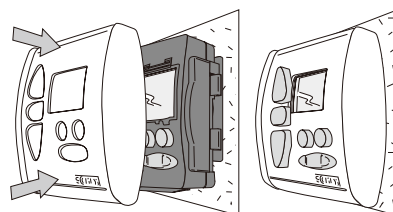
注) 複数台取り付けの際は 30cm 以上離して取り付けてください。又、本機を金属で覆わないでください。取り付け場所からシャッターなどが動作することを確認して施工してください。



サポートをネジで固定する。



本体をサポートに取り付ける。
(電池の絶縁シートを取除く)

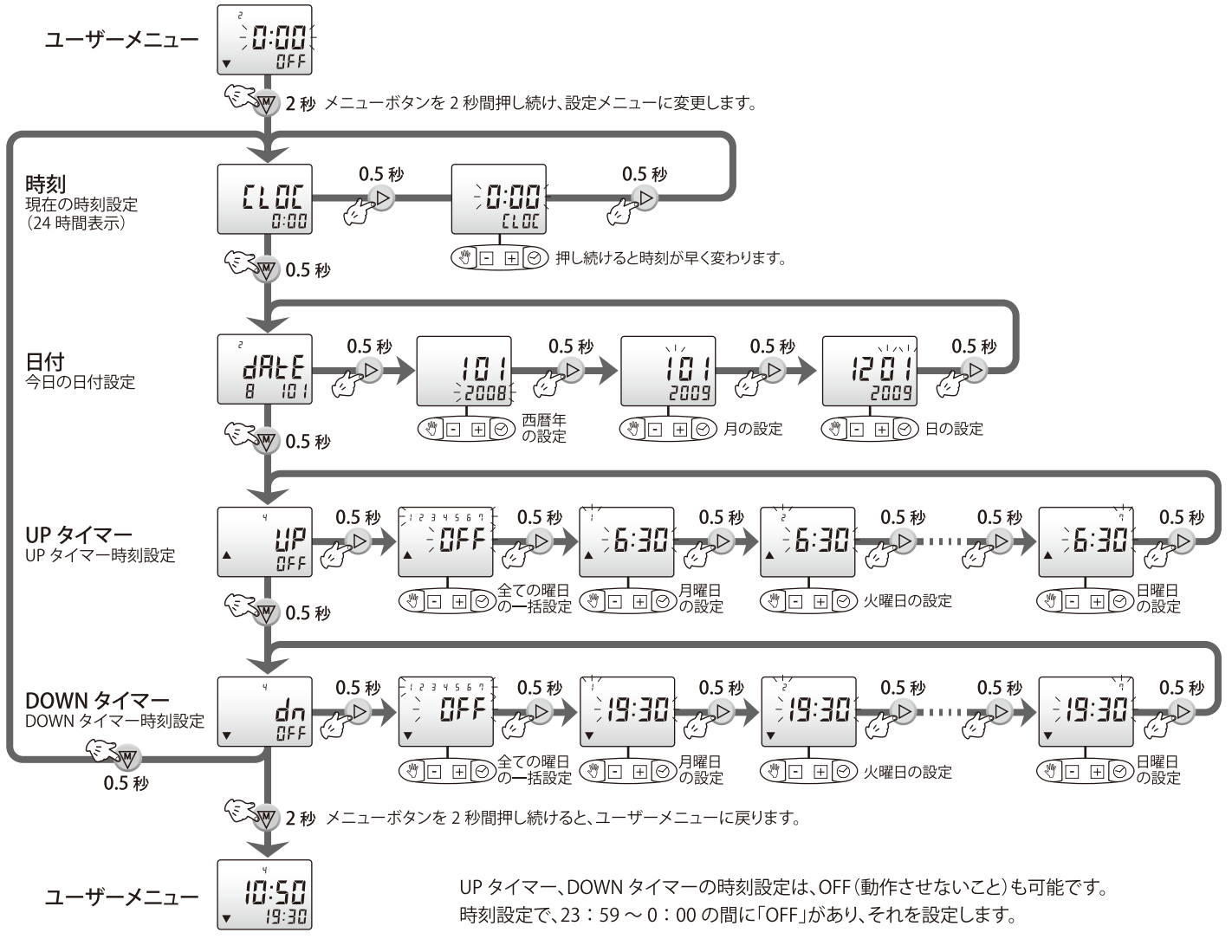


液晶部のフィルムをはがし、
フロントカバーを取り付ける。

受信機への登録方法は
受信機の説明書をご覧ください。

設定

設定メニューでは UP、STOP、DOWN 及びプログラムボタン操作はできません。
30 秒間ボタン操作を行わないとユーザーメニューに戻ります。



使用方法 (ユーザーメニュー)

●タイマー機能の ON/OFF

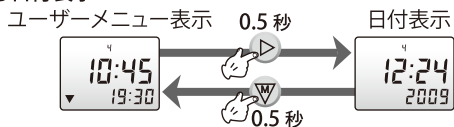


●通常操作

タイマー動作以外でシャッター等を動作させる場合は UP 又は DOWN ボタンを押します。

停止させる場合は STOP ボタンを押します。

●日付表示



※日付表示は 3 秒間表示後ユーザーメニューに戻ります。

トラブルシューティング

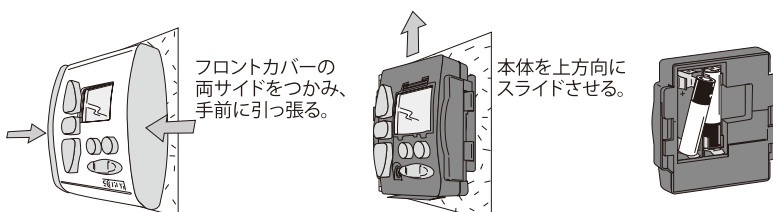
- 何も表示されない
電池の絶縁シートは取りましたか？
電池の極性は間違いないですか？
- UP、DOWN ボタンを押してもシャッター等が動かない
受信機に本機 (Chronis S RTS) を登録しましたか？
(登録方法は受信機の説明書をご覧ください)
- タイマーで動作しない (UP、DOWN ボタンでは動作する)
タイマー機能が OFF になっていませんか？
(使用方法●タイマー機能の ON/OFF を参照してください)

出荷時の設定値

- 時刻 0:00
- 日付 2008 年 1 月 1 日
- UP 時刻 月～日曜 全て OFF
- DOWN 時刻 月～日曜 全て OFF
- タイマー機能 ON

電池交換

注) 電池交換時には現在時刻がリセット (0:00) されます。
交換後に必ず現在の時刻を設定してください。



⚠ 電池交換時のご注意

- +/- は正しく入れてください。
使用済みのアルカリ乾電池は全ての+極と-極をセロハンテープで絶縁してから、一般の不燃ごみとして処理をしてください。但し、住んでいる所 (各自治体) に定めがある場合はその指示に従って捨ててください。
- 単 4 アルカリ電池を使用してください。
(充電式電池は使用できません)
- 新旧の電池や違う種類の電池をいっしょに使用しないでください。
※電池の取扱いを誤ると電池の液もれにより、周囲汚損の原因になることがあります。

タイマー設定例

30 秒間ボタン操作を行わないとユーザーメニューに戻ります。

- 設定例の日時 : 2009年12月24日 午前10:45
- UPタイマー設定時刻 : 月～金曜日は午前6:30
土、日曜日は午前7:30
- DOWNタイマー設定時刻 : 月～日曜日まで全て19:30 (午後7:30)

初期状態



時刻



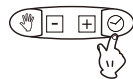
2 秒間押し続ける



1 回押す



10:45 に設定



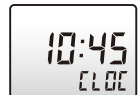
押し続ける



...



時刻を合わせる



時刻の登録



1 回押す



日付



1 回押す



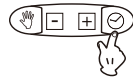
年



1 回押す



2009 に設定



1 回押す



月



1 回押す



12 に設定



1 回押す



日



1 回押す



24 に設定



8 回押す



...



日付の登録



1 回押す



UP
タイマー



1 回押す



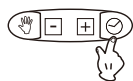
全ての曜日の
一括設定



1 回押す



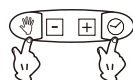
6:30 に設定



押し続ける



...



時刻を合わせる



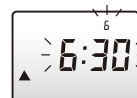
土曜日



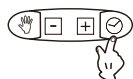
6 回押す



...



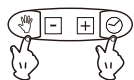
7:30 に設定



押し続ける



...



時刻を合わせる



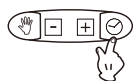
日曜日



1 回押す



7:30 に設定



押し続ける



...



時刻を合わせる



UP タイマー
の登録



1 回押す



DOWN
タイマー



1 回押す



全ての曜日の
一括設定



1 回押す



19:30 に設定



押し続ける



...



時刻を合わせる



DOWN タイマー
の登録



1 回押す



ユーザー
メニュー



2 秒間押し続ける



ソムフィ株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-5 オーク五反田ビル4F

弊社では、製品の直接修理・販売等のサービスは行っておりません。
製品についてのご質問、故障や紛失等の際は、お買求めの販売店、またはメーカーへお問い合わせください。